

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間増毛町
MASHIKE TOWN

令和 3 年 7 月 1 9 日

増毛港 屋根付き岸壁が完成！

～サク、ナマコの輸出促進を目的とした屋根付き岸壁を整備～

留萌開発建設部と増毛町は、増毛港本港地区において整備を進めていた屋根付き岸壁の工事が完成したことから、令和3年7月17日に供用式典を開催いたします。

農水産物の輸出促進・輸出力強化を図るため、留萌開発建設部では平成29年度から増毛港本港地区に屋根付き岸壁の整備を進めているところですが、このたび、令和3年度の工事によって施設が完成しました。

なお、本施設は平成29年5月に、増毛港を含む道内の6港湾管理者が策定した農水産物輸出促進計画（国土交通省港湾局長認定）に基づき、道内6港で推進している農水産物輸出促進基盤整備事業の一環として実施しております。

※増毛港屋根付き岸壁整備の概要は【別紙1】をご覧ください。

記

- 1 日 時 令和3年7月17日（土）12：10～
- 2 場 所 増毛港屋根付き岸壁（増毛町中歌791番1地先）
- 3 主 催 増毛町、留萌開発建設部

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部

築港課 築港課付

下山 宗生（電話 0164-42-4816 内線368）

留萌港湾事務所 第1工務課長

西澤 英樹（電話 0164-42-1205 内線30）

留萌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/rm/>

公式ツイッターTwitter アカウント @mlit_hkd_rm



増毛町建設課 課長補佐

尾崎 秀巳（電話 0164-53-1115）

増毛港 屋根付き岸壁 整備事業

北海道開発局 留萌開発建設部
留萌港湾事務所

《令和3年7月17日》

農水産物輸出促進計画(北海道)の概要

- 北海道の農水産品・食品の輸出額は年々増加しており、令和2年は575億円(H24比で約1.6倍)に拡大。
- 新たな輸出成長分野として見込まれる農水産物の輸出増加に対応するため、国土交通省は輸出に戦略的に取り組む港湾において、農水産物の輸出促進に資する施設の整備を支援し、輸出促進を図る制度を創設。
- 平成29年5月、道内の6港湾管理者らが策定した「農水産物輸出促進計画」が、全国で初めて国土交通省港湾局長から認定。海外への輸出促進を図るため、輸出拠点港湾においては小口積替円滑化支援施設等、連携水揚港湾においては屋根付き岸壁等の整備を進める。

農水産物輸出促進計画(北海道)の概要

外貨コンテナ船、国際フィーダー船で輸出

【屋根付き岸壁の整備効果】
日射等による鮮度低下を回避
鳥糞等の異物混入を防止

連携水揚港湾

屋根付き岸壁の整備(紋別港)

輸出販路拡大

魚価UP

ブランド力UP

農産品(米・野菜等)

輸出拠点港湾

抗菌パネル

衛生的な屋内

エアカーテン設置

小口貨物をまとめるストレッチ包装機

昇降機設置

小口積替円滑化支援施設(石狩湾新港)

リーファーコンテナ電源供給装置(石狩湾新港)

北海道からの農水産品輸出額 1,500億円の達成を目指す

年次	水産品 (億円)	農産品 (億円)	合計 (億円)
H24	324	35	359
H29	536	138	674
H30	624	150	774
R1	538	126	664
R2	435	140	575
R7 (目標)	-	-	1,500

北海道総合開発計画の目標1,500億円

2030年の農林水産物・食品の輸出額 5兆円の政府目標達成に貢献

- 増毛港におけるサケ等の荷役は野天で作業しており、鳥糞などの異物混入や直射日光などによる品質低下が課題。
- 増毛産水産品の更なる輸出促進を図るため、開発局と管理者・漁業者による一体的な取り組みを行うことにより、品質・衛生管理をさらに強化。

整備前



《農水産物輸出促進計画》

【ハード対策(開発局の取組)】

- ・屋根付き岸壁の整備

【ソフト対策(管理者・漁業者の取組)】

- ・高度衛生管理のための計画策定(増毛港衛生管理マニュアル)
- ・滅菌海水装置の導入
- ・製氷施設とエア搬送装置の導入



マニュアル策定協議状況

整備後

イメージパース



【整備効果】

- 屋根により鳥糞、直射日光等を防ぎ、滅菌海水装置の導入等と合わせて、衛生管理水準が高度化
- 増毛港衛生管理マニュアルに即した施設利用により、さらなる輸出促進を目指す



屋根付き岸壁 工事工程

- ・着工:平成29年4月
- ・完了:令和 3年6月

